

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 11 月 14 日 (2013.11.14)

【公開番号】特開 2012-71101 (P2012-71101A)
 【公開日】平成 24 年 4 月 12 日 (2012.4.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-015
 【出願番号】特願 2011-115733 (P2011-115733)
 【国際特許分類】

A 4 7 C 21/08 (2006.01)

A 6 1 G 7/05 (2006.01)

【 F I 】

A 4 7 C 21/08 Z

A 6 1 G 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 9 月 26 日 (2013.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

このベッド用グリップ 1 は、第 1 図から第 3 図に示すように、主として固定柵部 2 と、この固定柵部 2 の一側部に回動機構 3 を介して回動自在に連設するグリップ部 4 とからなる。なお、前記固定柵部 2 にはベッド B のサイドフレーム B_f に設けられた取付孔 h, h に取り付けるための固定手段 5 を具備するが、この固定手段 5 については後述する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

まず、前記固定柵部 2 はベースパイプ 6 にコ字状に曲折してなる枠パイプ 7 を固着するとともに、この内部に補強部材 8, 8, …, 9 を固着して構成している。

一方、前記グリップ部 4 はグリップフレーム 10 にグリップ部材 11 を装着して構成している。なお、前記グリップフレーム 10 は第 4 図に示すように支持パイプ 12 に L 字状に曲折した補強パイプ 13 を固着するとともに、前記グリップ部材 11 を固定するための空孔部 14 a, 14 a, … を穿設した取付プレート 14 を固着したものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 7 】

このように構成された固定機構 5 は、前記操作ハンドル 33 をグリップ部 4 に向けた状態で、支柱 30 と偏心軸部 31 c の間隔がベッド B のベッドフレーム B_f に設けた取付孔 h, h の間隔と等しくなるように構成している。

そして、この状態で前記取付孔 h, h に、これら支柱 30, 31 を挿通した後、前記操作ハンドル 33 を他方の支柱 31 側に向くように水平回動する。すると、上述したように

軸部 3 1 a に対して偏心して偏心軸部 3 1 c が設けられているので、前記取付孔 h , h の間隔よりもこれら支柱 3 0 と偏心軸部 3 1 c の間隔が狭くなり、大きな固定力となってベッド用グリップ 1 を固定するものとなっている。

なお、該操作ハンドル 3 3 は 3 6 0 度回転操作自在であるので、ベッド B の左右どちら側にも取り付けできる固定機構 5 となっていることは言うまでもない。